

“前向きな本音”が溢れたブログなら、誰かの心に必ず響きます



▶ Profile

うすい ゆき 1958年東京都生まれ。91年より病身の夫に代わり健康器具製造・販売の道に入り、ヒット商品を次々に開発。理学博士、健康医科学博士、MBAなど多くの学位をもち、執筆や講演にも励む。最新刊は『出会った人すべてを味方に変える技術』（日本実業出版社刊）。グループ年商23億円、従業員5名、本社・東京都品川区。

<http://www.dr-yuki.com/>

(有)ドクターユキオフィス

社長 白井 由妃

ブログはブームになる前から始めています。もともと楽天さんでよく買い物をしていたので、楽天さんで始めました。ホームページを拡充するのはお金がかかりましたし、ブログなら簡単に作れると思ったのがきっかけです。

当時から単行本の執筆など、かなりの比率で書くこと自体が仕事になっていた私ですが、実は一本ほど記事をアップしたあと、全然書けなくなったことがあります。経営者なら陥りがちなことだと思いますが、「いいこと」や「役に立つこと」ばかりを書こうとしていたんです。自分の長所ばかりを見せようとしたり、やたらと文章を整えたり。そのうちに書いては消しの繰り返しで筆が進まなくなりました。それまで書いた記事は、見た目は整っていても「お利口さん」な文章なんです。自分で読み返してみても全然面白くない（笑）。「こんなに手間をかけて、一体何をやっているんだろう」と思っ、考えを改めました。

結局、ブログを書くことを重く捉えすぎていたんですね。私が本に書いたことは本を読んでもらえばいいわけですし、本に書いていない裏話や、もっと自分をさらけ出すこと、考えを改めたい。出して、私自身のことを知っていただけたほうがいい。文章も自然体で「ですます調」と「である調」が混在したって構わない。誤字がちよとくくらいあってもあとで直せばいいし、イラストや写真もどんどん入れて……と、そんなふうに関心直ったら、すらすら書けるようになって、読者数がどんどん増えていったんです。

♪ 前向きな愚痴ならOK

いまでは楽天、アメブロ、経営者会報など、計五つのブログを書いています。これだけのブログを更新できているのは、素直にカット

ま、けっこう動きがいいんです。こんな「前向きな愚痴」なら、親切に反応してくださる人が必ず出てきます。

ブログは経営者が情報を発信するには「最強」のツールです。一番影響力があるという意味ではなく、費用対効果の高さや手軽さ、読者との双方向性など、様々なメリットを総合的に判断して、という意味です。自分の考えをある程度整理する機会にもなります。ただし、昔の私みたいに格好をつけてはダメ。本音や人間性を前向きな姿勢でオープンにすれば、きっと誰かの心に響くはずですよ。



↑白井社長のブログ <http://dryuki.keikai.topblog.jp/>

コをつけず書いているからだと思います。最近、ブログで、昔出した売れなかつた本のことを「わが子のよな本が断裁処分になって悲しい」と本音を書いたら、読者の方がその本を入手してメールで「よい本です」と励ましてくださった。それで勇気づけられて、知り合いの出版社の方に文庫化をもちかけたから実現して、い